

第3次川根本町総合計画 策定基礎資料

第2次川根本町総合計画の 達成状況について

—— 行政評価と住民評価から見る課題と方向性

第2次総合計画 後期基本計画（令和4～8年度）の評価と、第3次計画（令和9～18年度）に向けた検討

全体評価点

74.0

庁内施策評価の平均点

町への愛着度

89.5%

町民アンケート結果

定住意向

81.2%

町民アンケート結果

本資料の構成

01

本資料の位置づけと目的

行政評価と住民評価の両面から施策を評価するねらい

02

評価の方法と資料の見方

行政評価（達成度A～E・施策の方向）と住民評価（満足度・重要度）

03

全体評価の総括

全体評価点・区分別評価・今後の方向の分布

04

住民評価の全体像

満足度×重要度による施策の分類と重点強化領域

05

重点戦略の評価

重点施策1・2の総合評価

06

分野別施策の評価

6分野・施策1-1～6-4／個別施策1-1-1～

07

総括：課題抽出と次期計画への方向性

拡充・維持・効率化・統合・休廃止の整理

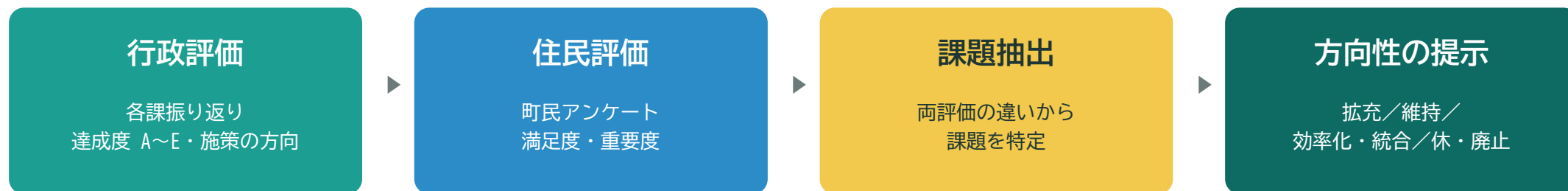
01 本資料の位置づけ

行政評価と住民評価の両面から施策を評価する

本資料のねらい

- ① 行政評価（各課の達成状況）と住民評価（町民アンケート）の両面から、各施策を評価する
- ② 行政評価と住民評価の違いから見える課題を抽出する
- ③ 施策ごとに、次期計画に向けた方向性（施策の方向）を提示する

評価の流れ



※ 評価対象：第2次総合計画 後期基本計画（令和4～8年度） / 町民アンケート n=504（回収率50.4%・令和7年11月）

2つの評価軸

行政評価（各課振り返り）

達成度（5段階で採点）

A	100点	計画どおり達成
B	80点	おおむね達成
C	60点	一部達成
D	40点	あまり達成せず
E	20点	ほとんど未達成

施策の方向（今後の取扱い）

維持=継続 / 拡充=注力 / 効率化・統合・休廃止=見直し
完了=完了 の区分で各課が判定

住民評価（町民アンケート）

満足度

「満足+やや満足」の割合。町平均と比べて 高／低で評価

重要度

「重要+やや重要」の割合。町平均と比べて 高／低で評価

満足度×重要度の4象限

低満足・高重要
重点的に強化

高満足・高重要
積極的に維持

低満足・低重要
二一ズ確認・周知

高満足・低重要
満足度維持・対応

02 資料の見方

評価のレベルと施策の方向の凡例

評価は3つの階層で整理しています

区分・分野	区分・分野レベルの総合評価 重点施策／ひとづくり・魅力づくり・活力づくり（6分野）
施策	施策レベルの評価 施策 1-1～6-4（例：1-1 学校教育）
個別施策	個別施策レベルの評価 個別施策 1-1-1～（例：1-1-1 幼児教育／義務教育／高校教育）

次期計画に向けた方向性の判定 —— 各課の「施策の方向」の4区分

拡充 力を入れて拡充・強化 第3次川根本町総合計画 策定基礎資料 達成状況×町民アンケート対比	維持 現行の取組を維持・継続	効率化・統合 効率化・他事業と統合	休・廃止 休止・廃止を検討
--	--------------------------	-----------------------------	-------------------------

03 全体評価の総括

計画全体の評価点は 74.0 点



評価の特徴

- 教育・文化分野が高評価（80.4点）**
学校の魅力化や川根高校支援などの継続的な取組が評価
- 生活環境・基盤整備分野が最も低い（69.8点）**
公共交通・道路など生活基盤整備が行き届きにくい
- 町への愛着度89.5%・定住意向81.2%**
暮らしへの評価は高く、基盤整備が今後の鍵

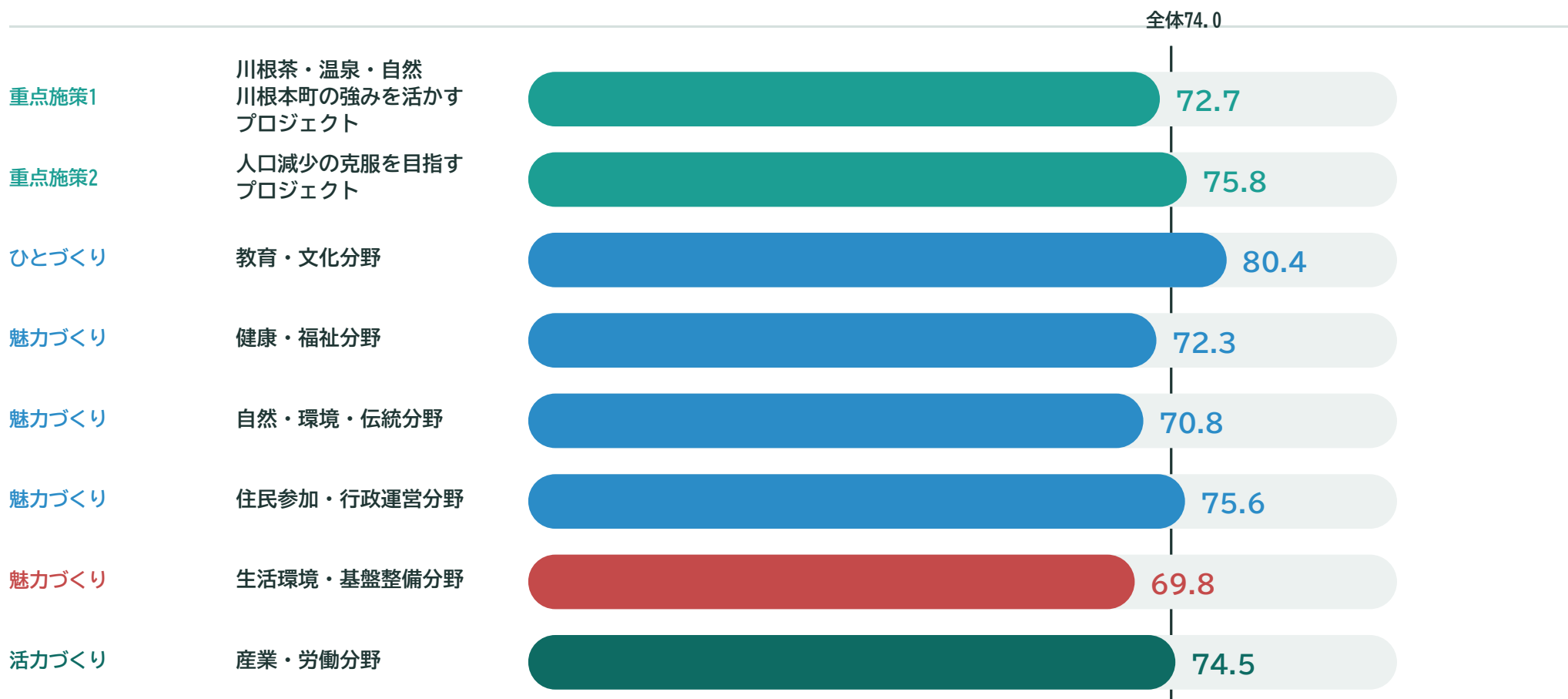
計画全体の「今後の方向」の分布（施策の方向・全588件）



→ 全体の約76%は「維持」。限られた資源のなかで「拡充」すべき施策と「効率化・統合／休・廃止」施策の選別が次期計画の論点。

03 区分・分野別の総合評価

区分・分野レベルの評価点（B・C列レベル）



→ 最高は教育・文化分野（80.4）、最低は生活環境・基盤整備分野（69.8）。分野間の差が次期計画の重点配分の手がかり。

04 住民評価の全体像

満足度 × 重要度による施策の分類

		満足度 低い ↓	満足度 高い ↑
重要度	高い	重点的に強化【最優先】 11施策 ◆1-1-1 幼児教育 ◆1-2 産業人材育成 ◆2-5 子育て支援 3-1-2 道路・公共交通 5-2-1 行政運営 ◆6-1 農林業 ◆6-2 商工業 6-3 観光業 ◆重点1 川根茶 ◆重点2 しごと ◆重点2 ひと	積極的に維持していく 14施策 1-1-2 義務教育 2-1-1 保健 2-1-2 医療 2-2 地域福祉 2-3 高齢者福祉 2-4 障がい者福祉 3-2-3 衛生 3-2-4 水道 3-3-1 防災 3-3-2 消防・救急 3-3-3 交通安全・防犯 4-2 自然環境 4-3 景観形成 5-2-2 社会保険
	低い	ニーズ確認・事業周知 16施策 1-1-3 高校教育 ◆1-1-4 学習環境 ◆1-3-1 生涯学習 ◆1-3-2 文化・芸術 ◆1-3-3 青少年活動 ◆1-4 生涯スポーツ ◆3-1-1 土地利用 ◆3-1-3 ICT 3-2-1 居住環境 ◆3-2-2 移住・定住 4-4 環境保全 5-1-3 地域間交流・国際交流 ◆5-1-4 人権尊重・男女共同参画 ◆5-2-3 広域行政 6-4 プロモーション 重点1 温泉	満足度を保ちつつ対応 5施策 4-1 歴史・文化 5-1-1 住民のまちづくり活動 5-1-2 協働 重点1 自然 重点2 まち

※ 基準：満足度＝「満足＋やや満足」が町平均22.3%より高い/低い、重要度＝「重要＋やや重要」が町平均62.1%より高い/低い。

※ ◆＝行政評価（達成度75点以上）は高いが住民満足度が低い、行政評価と住民評価のギャップが大きい施策（周知・実感の向上が課題）。

SECTION 05

重点戦略

川根本町の強みを活かし、人口減少の克服を目指す2つのプロジェクト

重点施策1 川根茶・温泉・自然 川根本町の強みを活かすプロジェクト

総合評価点

72.7

	行政評価	住民評価
川根茶 地域資源の価値の向上	達成度 80	満足度 平均より 低 (17.5%) 重要度 平均より 高 (63.9%) 重点的に強化する必要がある領域
温泉 地域資源の活用と新たな価値の創出	達成度 67	満足度 平均より 低 (18.8%) 重要度 平均より 低 (59.3%) ニーズの実態確認・事業周知を図る領域
自然 自然との共生・豊かな暮らしの実現	達成度 70	満足度 平均より 高 (31.3%) 重要度 平均より 低 (57.3%) 満足度を保ちながらニーズに対応する領域

方向性 各課の施策の方向は 維持5件／拡充6件。
第3次川根本町総合計画 策定基礎資料 | 達成状況×町民アンケート対比

重点施策2 人口減少の克服を目指すプロジェクト

総合評価点

75.8

	行政評価	住民評価
しごと 多様な就労環境の創出	達成度 95	満足度 平均より 低 (14.1%) 重要度 平均より 高 (66.1%) 重点的に強化する必要がある領域
ひと 生産年齢人口の流入、定住の促進	達成度 76	満足度 平均より 低 (14.9%) 重要度 平均より 高 (65.1%) 重点的に強化する必要がある領域
まち だれもが暮らしやすいまちづくり	達成度 68	満足度 平均より 高 (25.0%) 重要度 平均より 低 (76.4%) 満足度を保ちながらニーズに対応する領域

方向性 各課の施策の方向は 維持14件／拡充5件。
第3次川根本町総合計画 策定基礎資料 | 達成状況×町民アンケート対比

分野① ひとづくり

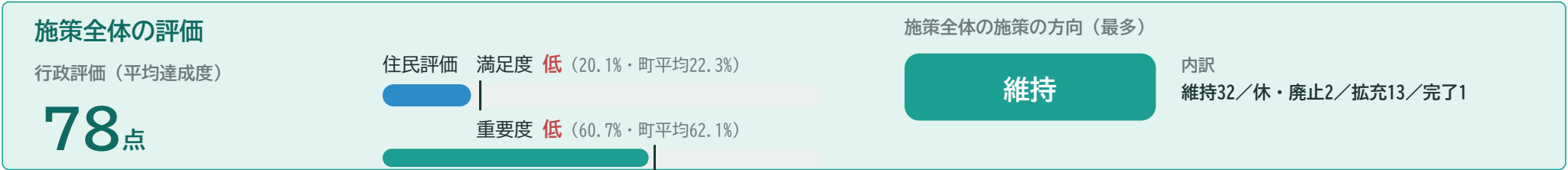
教育・文化分野

地域を支えるひとであふれるふるさと（評価点 80.4）

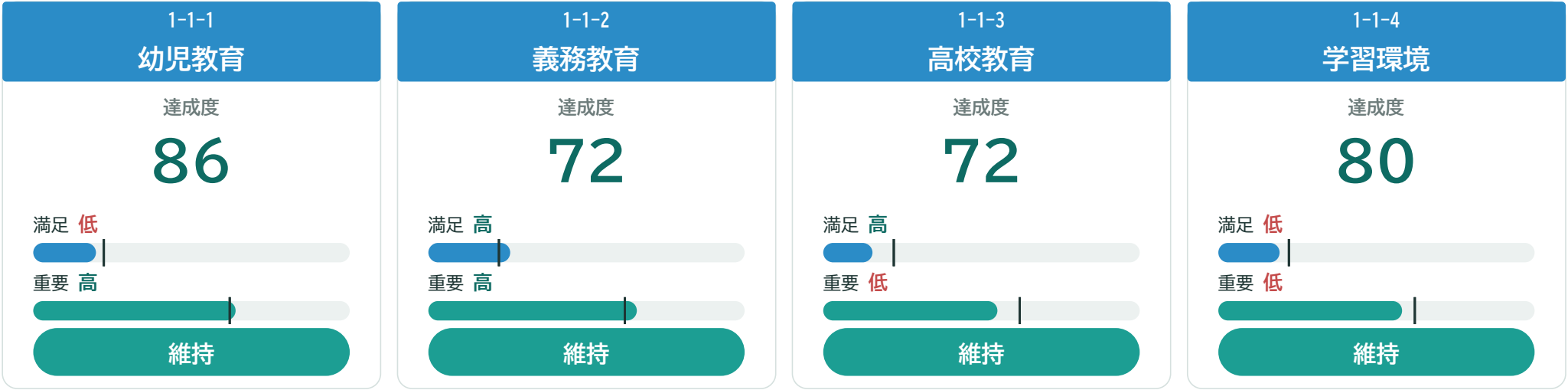
分野評価点

80.4

1-1 学校教育 — 施策全体と個別施策の評価



個別施策ごとの評価



→ 義務教育は満足度・重要度ともに高く重点。幼児教育は休園を踏まえた今後のあり方の整理が論点。高校教育は魅力化を継続。

1-1-1 幼児教育

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

86

達成度の内訳

A ×3 B ×7

主な残された課題

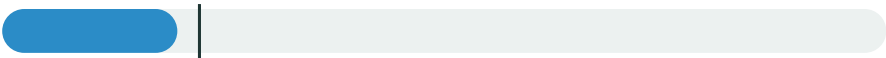
- ・課の枠を超えた連携、伝統的な遊びの掘り起こしが必要。
- ・子育てに不安を持つ親及びその子どもの対応が必要。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足+やや満足 19.8%（町平均 22.3%）



重要度

平均より 高

重要+やや重要 63.9%（町平均 62.1%）



位置づけ： 重点的に強化する必要がある領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 維持7／休・廃止1／拡充2

維持

行政評価は高い（達成度86点）だが住民満足度は低く、両評価にギャップがある。成果を実感につなげる工夫が課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

1-1-2 義務教育

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

72

達成度の内訳

A ×1 B ×7 C ×7

主な残された課題

- ・各教科の授業構造の改善に努めていく必要がある。
- ・参加者に偏りがある。子どもたちの参加は少ない。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 高

満足+やや満足 25.9%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 高

重要+やや重要 65.9%（町平均 62.1%）

位置づけ：積極的に維持していくべき領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 拡充5／維持9／休・廃止1

維持

行政評価（達成度72点）・住民評価ともに高く、積極的に維持すべき施策。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

1-1-3 高校教育

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

72

達成度の内訳

A ×2 B ×7 C ×9

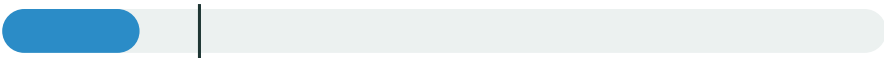
主な残された課題

- ・他市町から通学する生徒の登下校手段、生活環境の整備が必要。
- ・今年の課題を把握したうえで次年度へ繋げる。

住民評価（町民アンケート）

満足度 平均より 低

満足+やや満足 15.5%（町平均 22.3%）



重要度 平均より 低

重要+やや重要 55.0%（町平均 62.1%）



位置づけ： 満足度を保ちながらニーズに対応する領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 拡充5／維持11／完了1

維持

住民満足度は低く重要度は低め、行政評価は中程度（達成度72点）。ニーズの実態確認と事業周知が課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

1-1-4 学習環境

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

80

達成度の内訳

A ×2 B ×2 C ×2

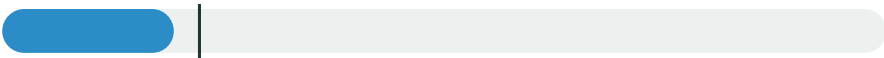
主な残された課題

- ・施設の老朽化が顕著であり、計画的な修繕・改修が必要。
- ・設備更新時期を迎える機器が多く、計画的な改修が必要。

住民評価（町民アンケート）

満足度 平均より 低

満足+やや満足 19.4%（町平均 22.3%）



重要度 平均より 低

重要+やや重要 58.1%（町平均 62.1%）



位置づけ： ニーズの実態確認・事業周知を図る領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 拡充1／維持5

維持

行政評価は高い（達成度80点）だが住民満足度は低く、両評価にギャップがある。成果を実感につなげる工夫が課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

1-2 産業人材育成

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

80

達成度の内訳

A ×1 B ×3 C ×1

主な残された課題

- ・県内外のマッチングの拡充。
- ・更なる能力向上が必要。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足+やや満足 10.5%（町平均 22.3%）



重要度

平均より 高

重要+やや重要 62.5%（町平均 62.1%）



位置づけ：重点的に強化する必要がある領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向：拡充3／維持2

拡充

行政評価は高い（達成度80点）だが住民満足度は低く、両評価にギャップがある。成果を実感につなげる工夫が課題。 施策の方向は「拡充」が最多 → 力を入れて拡充・強化。

1-3 生涯学習 — 施策全体と個別施策の評価

施策全体の評価

行政評価（平均達成度）

84点

住民評価

満足度 低（17.1%・町平均22.3%）

重要度 低（47.4%・町平均62.1%）

施策全体の施策の方向（最多）

維持

内訳
維持23／拡充4／完了1／効率化・統合3

個別施策ごとの評価

1-3-1
生涯学習

達成度

78

満足 低

重要 低

維持

1-3-2
文化・芸術

達成度

85

満足 低

重要 低

維持

1-3-3
青少年活動

達成度

88

満足 低

重要 低

維持

1-3-1 生涯学習

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

78

達成度の内訳

A ×3 B ×8 D ×2

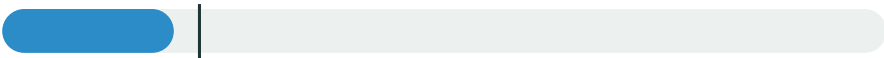
主な残された課題

- ・生涯学習活動への参加者が限定されているため、更なる工夫が必要。
- ・例年より、参加者の応募が少なくなっている。

住民評価（町民アンケート）

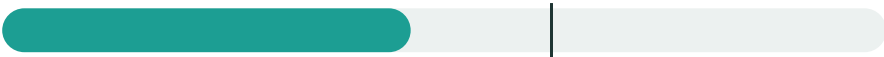
満足度 平均より 低

満足+やや満足 19.4%（町平均 22.3%）



重要度 平均より 低

重要+やや重要 46.2%（町平均 62.1%）



位置づけ： ニーズの実態確認・事業周知を図る領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 維持9／拡充2／完了1／効率化・統合1

維持

満足度・重要度ともに低く、行政評価は中程度（達成度78点）。ニーズの実態確認と事業周知が課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

1-3-2 文化・芸術

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

85

達成度の内訳

A ×2 B ×6

主な残された課題

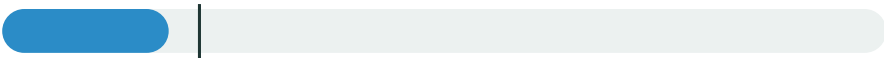
- ・後期課程生徒及び高校生を対象とした芸術鑑賞会がない。
- ・施設利用者の減少（団体の減少）。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

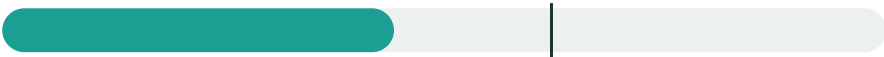
満足+やや満足 18.8%（町平均 22.3%）



重要度

平均より 低

重要+やや重要 44.3%（町平均 62.1%）



位置づけ： ニーズの実態確認・事業周知を図る領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 維持6／拡充2

維持

行政評価は高い（達成度85点）だが住民満足度は低く、両評価にギャップがある。成果を実感につなげる工夫が課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

1-3-3 青少年活動

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

88

達成度の内訳

A ×4 B ×6

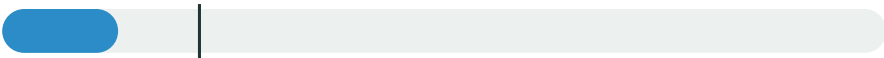
主な残された課題

- ・参加者の固定化
- 委託事業としての継続性（外注先の廃業）。
- ・コーディネーター、サポーターの高齢化および人材不足。

住民評価（町民アンケート）

満足度 平均より 低

満足+やや満足 13.1%（町平均 22.3%）



重要度 平均より 低

重要+やや重要 51.6%（町平均 62.1%）



位置づけ： ニーズの実態確認・事業周知を図る領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 維持8／効率化・統合2

維持

行政評価は高い（達成度88点）だが住民満足度は低く、両評価にギャップがある。成果を実感につなげる工夫が課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

1-4 生涯スポーツ

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

達成度の内訳

94

A ×7 B ×3

主な残された課題

- ・ 少子高齢化により、町民の参加者が減っている。
- ・ 少子高齢化により、各地区での普及が難しい。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足+やや満足 16.3%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 低

重要+やや重要 45.2%（町平均 62.1%）

位置づけ： ニーズの実態確認・事業周知を図る領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 維持10

維持

行政評価は高い（達成度94点）だが住民満足度は低く、両評価にギャップがある。成果を実感につなげる工夫が課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

分野② 魅力づくり

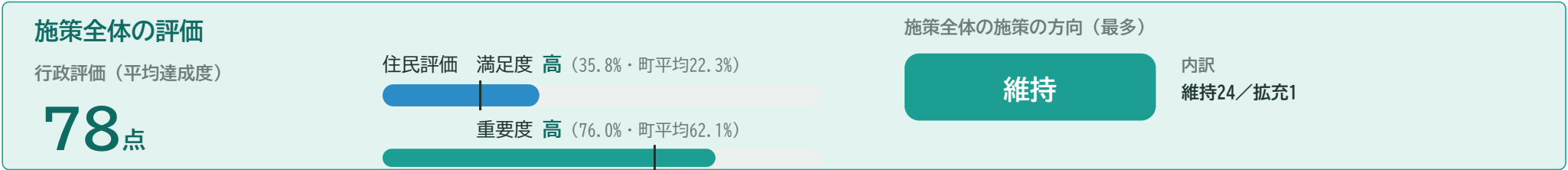
健康・福祉分野

安心して元気に暮らせるふるさと（評価点 72.3）

分野評価点

72.3

2-1 保健医療 — 施策全体と個別施策の評価



個別施策ごとの評価



2-1-1 保健

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

79

達成度の内訳

A

 ×2

B

 ×11

C

 ×1

D

 ×1

主な残された課題

・2年1クールでの健康づくりに関する普及啓発研修の場の提供。

・健康マイレージの協力店の増加に結びつきにくい。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 高

満足+やや満足 38.7%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 高

重要+やや重要 69.0%（町平均 62.1%）

位置づけ：積極的に維持していくべき領域

次期計画に向けた方向性

維持

行政評価（達成度79点）・住民評価ともに高く、積極的に維持すべき施策。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

各課の施策の方向：維持15

2-1-2 医療

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

78

達成度の内訳

A

×

1

B

×

7

C

×

2

主な残された課題

・さらなる、役場関係課、関係部署との情報共有の場の創出。

・懇親会の実施、医療機関への個別訪問による状況把握。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 高

満足+やや満足 32.9%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 高

重要+やや重要 82.9%（町平均 62.1%）

位置づけ：積極的に維持していくべき領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向：維持9／拡充1

維持

行政評価（達成度78点）・住民評価ともに高く、積極的に維持すべき施策。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

2-2 地域福祉

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

60

達成度の内訳

B

 ×6

C

 ×6

D

 ×2

E

 ×2

主な残された課題

・社会間ネットワークの維持及び補完する体制構築の検討が必要。

・福祉サービスを提供するための重層的な支援体制の構築が必要。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 高

満足+やや満足 26.0%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 高

重要+やや重要 69.8%（町平均 62.1%）

位置づけ：積極的に維持していくべき領域

次期計画に向けた方向性

維持

住民満足度は高いが行政評価は低め（達成度60点）で、取組水準の底上げが課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

各課の施策の方向： 維持14／拡充1／効率化・統合1

2-3 高齢者福祉

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

66

達成度の内訳

B ×5 C ×8 D ×1

主な残された課題

- ・新たな事業を開始するなどにより、今後の検証が必要。
- ・協力事業者等の掘り起こしにより、見守りの輪の拡充が必要。

住民評価（町民アンケート）

満足度 **平均より 高**

満足+やや満足 45.2%（町平均 22.3%）



重要度 **平均より 高**

重要+やや重要 79.0%（町平均 62.1%）



位置づけ：積極的に維持していくべき領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向：維持14

維持

行政評価（達成度66点）・住民評価ともに高く、積極的に維持すべき施策。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

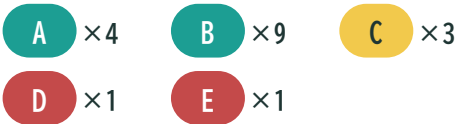
2-4 障がい者福祉

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

76

達成度の内訳



主な残された課題

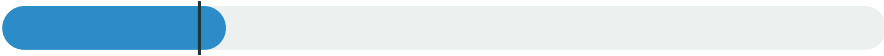
- ・障がいのある方やその保護者の高齢化による対応の検討が必要。
- ・更なる障がいのある方の雇用につながる対応が必要。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 高

満足+やや満足 25.3%（町平均 22.3%）



重要度

平均より 高

重要+やや重要 66.9%（町平均 62.1%）



位置づけ：積極的に維持していくべき領域

次期計画に向けた方向性

維持

行政評価（達成度76点）・住民評価ともに高く、積極的に維持すべき施策。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

各課の施策の方向： 維持17／効率化・統合1

2-5 子育て支援

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

76

達成度の内訳

A ×3

B ×13

C ×2

D ×1

E ×1

主な残された課題

・子ども、親に寄り添う形の相談体制の工夫が必要である。

・入居率が低いため、維持管理費用が増加傾向にある。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足＋やや満足 22.2%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 高

重要＋やや重要 72.8%（町平均 62.1%）

位置づけ： 重点的に強化する必要がある領域

次期計画に向けた方向性

維持

住民の重要度は高いが満足度が低く、行政評価は中程度（達成度76点）。重点的な強化が必要。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

各課の施策の方向： 維持16／拡充3／効率化・統合1

分野③ 魅力づくり

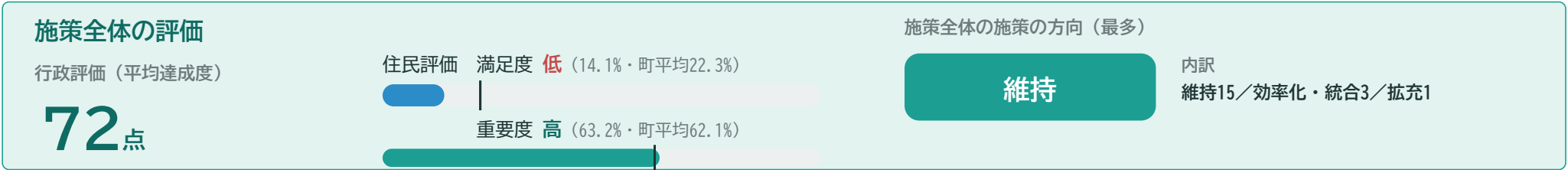
生活環境・基盤整備分野

快適に安心して暮らせるふるさと（評価点 69.8・最重点）

分野評価点

69.8

3-1 地域基盤 — 施策全体と個別施策の評価



個別施策ごとの評価



3-1-1 土地利用

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

80

達成度の内訳

B ×1

主な残された課題

・ 景観破壊のおそれや土砂災害リスクのある太陽光発電施設の承認申請が増加…。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足+やや満足

8.3%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 低

重要+やや重要

59.5%（町平均 62.1%）

位置づけ： ニーズの実態確認・事業周知を図る領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 維持1

維持

行政評価は高い（達成度80点）だが住民満足度は低く、両評価にギャップがある。成果を実感につなげる工夫が課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

3-1-2 道路・公共交通

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

56

達成度の内訳

B

×1

C

×6

D

×1

E

×1

主な残された課題

・要望順位を明確化し順に工事実施を要望していく。

・まずは狭小区間解消に向けた要望を優先する。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足+やや満足 18.8%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 高

重要+やや重要 78.6%（町平均 62.1%）

位置づけ：重点的に強化する必要がある領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向：維持5／効率化・統合3／拡充1

維持

住民の重要度は高いが満足度が低く、行政評価は低め（達成度56点）。重点的な強化が必要。 施策の方向は「維持」が最多
→ 現行の取組を維持・継続。

3-1-3 I C T

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

80

達成度の内訳

A

×1

B

×7

C

×1

主な残された課題

・他機関との連携による教育活動の展開が必要である。

・サービスの多様化などに取り組む必要がある。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足+やや満足 15.1%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 低

重要+やや重要 51.6%（町平均 62.1%）

位置づけ： ニーズの実態確認・事業周知を図る領域

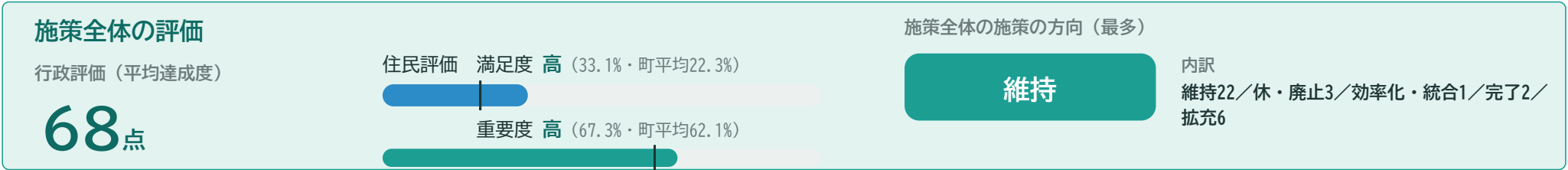
次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 維持9

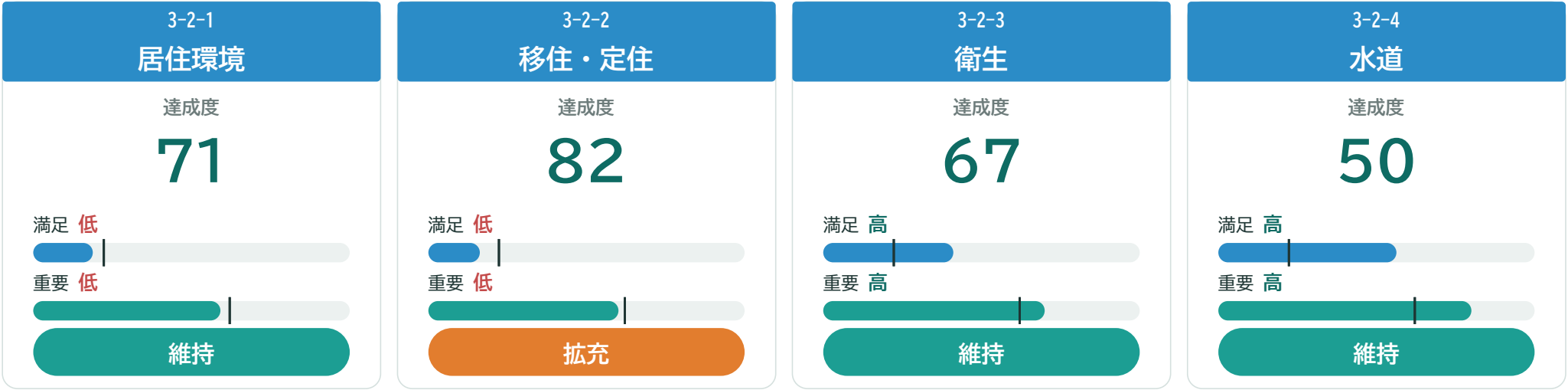
維持

行政評価は高い（達成度80点）だが住民満足度は低く、両評価にギャップがある。成果を実感につなげる工夫が課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

3-2 生活環境 — 施策全体と個別施策の評価



個別施策ごとの評価



3-2-1 居住環境

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

71

達成度の内訳

A

×

2

B

×

2

C

×

2

E

×

1

主な残された課題

・町内の危険空き家について、所有者情報を明確化する。

・工事費用が捻出できず、当初計画に基づいた工事の実施ができていない。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足+やや満足 18.8%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 低

重要+やや重要 59.1%（町平均 62.1%）

位置づけ： ニーズの実態確認・事業周知を図る領域

次期計画に向けた方向性

維持

満足度・重要度ともに低く、行政評価は中程度（達成度71点）。ニーズの実態確認と事業周知が課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

各課の施策の方向： 維持3／休・廃止1／効率化・統合1／完了2

3-2-2 移住・定住

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

82

達成度の内訳

A

×1

B

×9

主な残された課題

・移住希望者の賃貸ニーズには十分に応えられていない。

・利用が伸び悩む事業に関しては、さらなる情報発信などが必要。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足+やや満足 16.3%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 低

重要+やや重要 60.1%（町平均 62.1%）

位置づけ： ニーズの実態確認・事業周知を図る領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 拡充6／維持4

拡充

行政評価は高い（達成度82点）だが住民満足度は低く、両評価にギャップがある。成果を実感につなげる工夫が課題。 施策の方向は「拡充」が最多 → 力を入れて拡充・強化。

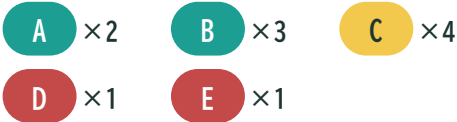
3-2-3 衛生

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

67

達成度の内訳



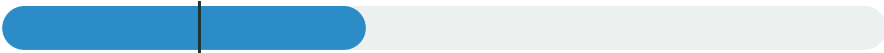
主な残された課題

- ・環境意識の醸成を図る施策と連携した啓発の継続が必要。
- ・町内獣医が不在のため、近隣獣医師会の協力が不可欠となっている。

住民評価（町民アンケート）

満足度 **平均より 高**

満足+やや満足 41.1%（町平均 22.3%）



重要度 **平均より 高**

重要+やや重要 70.0%（町平均 62.1%）



位置づけ：積極的に維持していくべき領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向：維持9／休・廃止2

維持

行政評価（達成度67点）・住民評価ともに高く、積極的に維持すべき施策。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

3-2-4 水道

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

50

達成度の内訳

B

 ×1

C

 ×2

D

 ×2

E

 ×1

主な残された課題

・水道料金の改定（値上げ）により収益の確保と施設の更新、維持管理。

・人口減少により維持管理が困難になる施設が出てくることが予想される。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 高

満足+やや満足 56.3%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 高

重要+やや重要 80.0%（町平均 62.1%）

位置づけ：積極的に維持していくべき領域

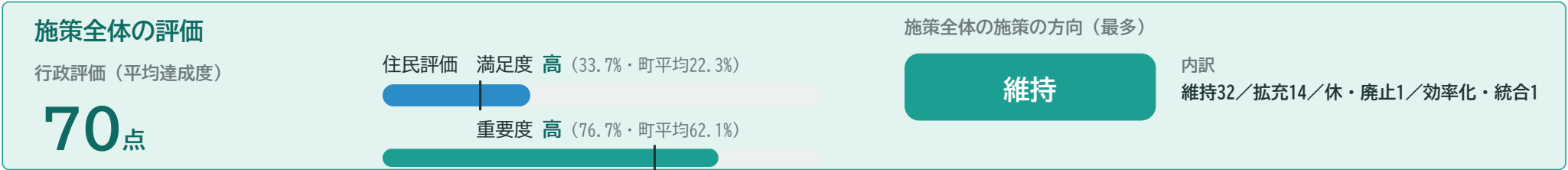
次期計画に向けた方向性

維持

住民満足度は高いが行政評価は低め（達成度50点）で、取組水準の底上げが課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

各課の施策の方向： 維持6

3-3 生活安全 — 施策全体と個別施策の評価



個別施策ごとの評価



3-3-1 防災

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

61

達成度の内訳

A ×5

B ×4

C ×3

D ×1

E ×6

主な残された課題

・地域の災害時要配慮者を避難支援対策へ反映させる。

・対象とする項目についての訓練ができていない。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 高

満足+やや満足 28.0%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 高

重要+やや重要 75.8%（町平均 62.1%）

位置づけ：積極的に維持していくべき領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向：維持11／拡充6／休・廃止1／効率化・統合1

維持

住民満足度は高いが行政評価は低め（達成度61点）で、取組水準の底上げが課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

3-3-2 消防・救急

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

73

達成度の内訳

A ×6

B ×2

C ×3

D ×4

主な残された課題

・ #7119の認知度は低く、更なる啓発が必要と感じる。

・ 常備、非常備含め町の消防力と捉えた消防力の向上。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 高

満足+やや満足 42.9%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 高

重要+やや重要 79.8%（町平均 62.1%）

位置づけ：積極的に維持していくべき領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 拡充6／維持9

維持

行政評価（達成度73点）・住民評価ともに高く、積極的に維持すべき施策。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

3-3-3 交通安全・防犯

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

77

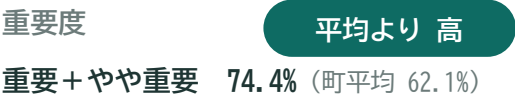
達成度の内訳



主な残された課題

- ・子ども、高齢者の集まる催し等で教室開催等を検討したい。
- ・学校薬剤師以外の各機関との連携体制の確保が必要。

住民評価（町民アンケート）



位置づけ：積極的に維持していくべき領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向：維持12／拡充2

維持

行政評価（達成度77点）・住民評価ともに高く、積極的に維持すべき施策。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

分野④ 魅力づくり

自然・環境・伝統分野

自然・歴史と共に暮らすふるさと（評価点 70.8）

分野評価点

70.8

4-1 歴史・文化

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

96

達成度の内訳

A ×4 B ×1

主な残された課題

- ・学校統合により地域の文化活動を知る機会の減少。
- ・観光資源として活用する上で文化財所有者の理解と協力を得ること。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 高

満足+やや満足 31.3%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 低

重要+やや重要 55.8%（町平均 62.1%）

位置づけ： 満足度を保ちながらニーズに対応する領域

次期計画に向けた方向性

維持

住民満足度は高く重要度は低め、行政評価は高い（達成度96点）。満足度を保ちつつ対応。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

各課の施策の方向： 維持5

4-2 自然環境

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

72

達成度の内訳

A

×

4

B

×

5

C

×

9

E

×

1

主な残された課題

・ JR東海の実施対応について注視していく必要がある。

・ 町内の森林面積が多いため、森林整備に時間がかかる。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 高

満足+やや満足 24.2%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 高

重要+やや重要 70.4%（町平均 62.1%）

位置づけ：積極的に維持していくべき領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向：維持14／拡充3／休・廃止1／効率化・統合1

維持

行政評価（達成度72点）・住民評価ともに高く、積極的に維持すべき施策。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

4-3 景観形成

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

69

達成度の内訳

A

×1

B

×3

C

×7

主な残された課題

・制度の認知度や必要な事務手続きの周知がまだ不足している。

・更なる地域資源の認知と保護意識の向上が必要。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 高

満足+やや満足 26.0%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 高

重要+やや重要 65.3%（町平均 62.1%）

位置づけ：積極的に維持していくべき領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 拡充3／維持8

維持

行政評価（達成度69点）・住民評価ともに高く、積極的に維持すべき施策。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

4-4 環境保全

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

63

達成度の内訳

A ×1

B ×2

C ×10

D ×2

主な残された課題

・多くの団体に実施していただくため、さらに周知する必要がある。

・補助金申請についてわかりやすい手引きの作成。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足+やや満足 13.9%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 低

重要+やや重要 51.8%（町平均 62.1%）

位置づけ： ニーズの実態確認・事業周知を図る領域

次期計画に向けた方向性

維持

満足度・重要度ともに低く、行政評価は低め（達成度63点）。ニーズの実態確認と事業周知が課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

各課の施策の方向： 維持14／完了1

分野⑤ 魅力づくり

住民参加・行政運営分野

住民主役の地域づくりが盛んなふるさと（評価点 75.6）

分野評価点

75.6

5-1 地域づくり — 施策全体と個別施策の評価

施策全体の評価

行政評価（平均達成度）

76点

住民評価

満足度 低（19.2%・町平均22.3%）

重要度 低（44.2%・町平均62.1%）

施策全体の施策の方向（最多）

維持

内訳
維持62／効率化・統合2／拡充15／休・廃止2／完了1

個別施策ごとの評価

5-1-1
住民のまちづくり活動

達成度

82

満足 高

重要 低

維持

5-1-2
協働

達成度

77

満足 高

重要 低

維持

5-1-3
地域間交流・国際交流

達成度

60

満足 低

重要 低

維持

5-1-4
人権尊重・男女共同参画

達成度

84

満足 低

重要 低

維持

5-1-1 住民のまちづくり活動

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

82

達成度の内訳

A

×

3

B

×

3

C

×

2

主な残された課題

・コミュニティ備品貸出について、知らない町民がいる。

・広報紙を熟読している者以外には周知が行き渡らない傾向にある。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 高

満足+やや満足 23.8%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 低

重要+やや重要 55.4%（町平均 62.1%）

位置づけ： 満足度を保ちながらニーズに対応する領域

次期計画に向けた方向性

維持

住民満足度は高く重要度は低め、行政評価は高い（達成度82点）。満足度を保ちつつ対応。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

各課の施策の方向： 維持6／効率化・統合2

5-1-2 協働

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

77

達成度の内訳

A

×

2

B

×

40

C

×

3

D

×

3

主な残された課題

・参加者が少ない事業について、見直しを行う必要がある。

・まちづくりに関する事業進捗・計画の広報が不十分。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 高

満足+やや満足 25.2%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 低

重要+やや重要 45.0%（町平均 62.1%）

位置づけ： 満足度を保ちながらニーズに対応する領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 拡充12／維持36

維持

住民満足度は高く重要度は低め、行政評価は中程度（達成度77点）。満足度を保ちつつ対応。 施策の方向は「維持」が最多→ 現行の取組を維持・継続。

5-1-3 地域間交流・国際交流

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

60

達成度の内訳

A ×1

B ×6

D ×2

E ×3

主な残された課題

・事業のマンネリ化や参加者の固定化が課題となっている。

・姉妹都市や友好都市の提携についてメリットが把握できていない。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足+やや満足 13.3%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 低

重要+やや重要 36.5%（町平均 62.1%）

位置づけ： ニーズの実態確認・事業周知を図る領域

次期計画に向けた方向性

維持

満足度・重要度ともに低く、行政評価は低め（達成度60点）。ニーズの実態確認と事業周知が課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

各課の施策の方向： 維持9／拡充1／休・廃止2

5-1-4 人権尊重・男女共同参画

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

84

達成度の内訳

A ×5 B ×7 C ×2

主な残された課題

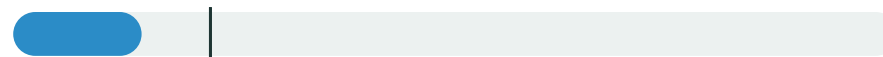
- ・事業のマンネリ化や参加者の固定化が課題となっている。
- ・本によって課題解決できているか把握する方法がない。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足+やや満足 14.5%（町平均 22.3%）



重要度

平均より 低

重要+やや重要 40.1%（町平均 62.1%）



位置づけ： ニーズの実態確認・事業周知を図る領域

次期計画に向けた方向性

維持

行政評価は高い（達成度84点）だが住民満足度は低く、両評価にギャップがある。成果を実感につなげる工夫が課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

各課の施策の方向： 維持11／完了1／拡充2

5-2 行財政 — 施策全体と個別施策の評価

施策全体の評価

行政評価（平均達成度）

79点

住民評価

満足度 低（19.1%・町平均22.3%）

重要度 低（59.3%・町平均62.1%）

施策全体の施策の方向（最多）

維持

内訳
維持63／拡充24／効率化・統合5

個別施策ごとの評価

5-2-1
行政運営

達成度

74

満足 低

重要 高

維持

5-2-2
社会保険

達成度

80

満足 高

重要 高

維持

5-2-3
広域行政

達成度

83

満足 低

重要 低

維持

5-2-1 行政運営

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

74

達成度の内訳

A × 11

B × 44

C × 12

D × 1

E × 7

主な残された課題

・施策ごとの明確な目標設定と、その達成のための推進体制。

・指定管理業務、その他民間委託経費の費用対効果の検証。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足＋やや満足 17.1%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 高

重要＋やや重要 64.3%（町平均 62.1%）

位置づけ： 重点的に強化する必要がある領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 維持47／拡充24／効率化・統合4

維持

住民の重要度は高いが満足度が低く、行政評価は中程度（達成度74点）。重点的な強化が必要。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

5-2-2 社会保険

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

80

達成度の内訳

A

×2

B

×6

C

×2

主な残された課題

・外国人向けの納税に関する周知が不十分となっています。

・計画に定めた目標に対する成果の検証が必要です。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 高

満足+やや満足 24.2%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 高

重要+やや重要 63.5%（町平均 62.1%）

位置づけ：積極的に維持していくべき領域

次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向：維持10

維持

行政評価（達成度80点）・住民評価ともに高く、積極的に維持すべき施策。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

5-2-3 広域行政

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

83

達成度の内訳

A

 ×2

B

 ×4

C

 ×1

主な残された課題

・ 広域になることで事業における各市町の平等性を確保するのが難しい。

・ 大井川流域の関係市町との新たな観光連携DMOを検討していく必要がある。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足+やや満足 15.9%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 低

重要+やや重要 50.0%（町平均 62.1%）

位置づけ： ニーズの実態確認・事業周知を図る領域

次期計画に向けた方向性

維持

行政評価は高い（達成度83点）だが住民満足度は低く、両評価にギャップがある。成果を実感につなげる工夫が課題。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

各課の施策の方向： 効率化・統合1／維持6

分野⑥ 活力づくり

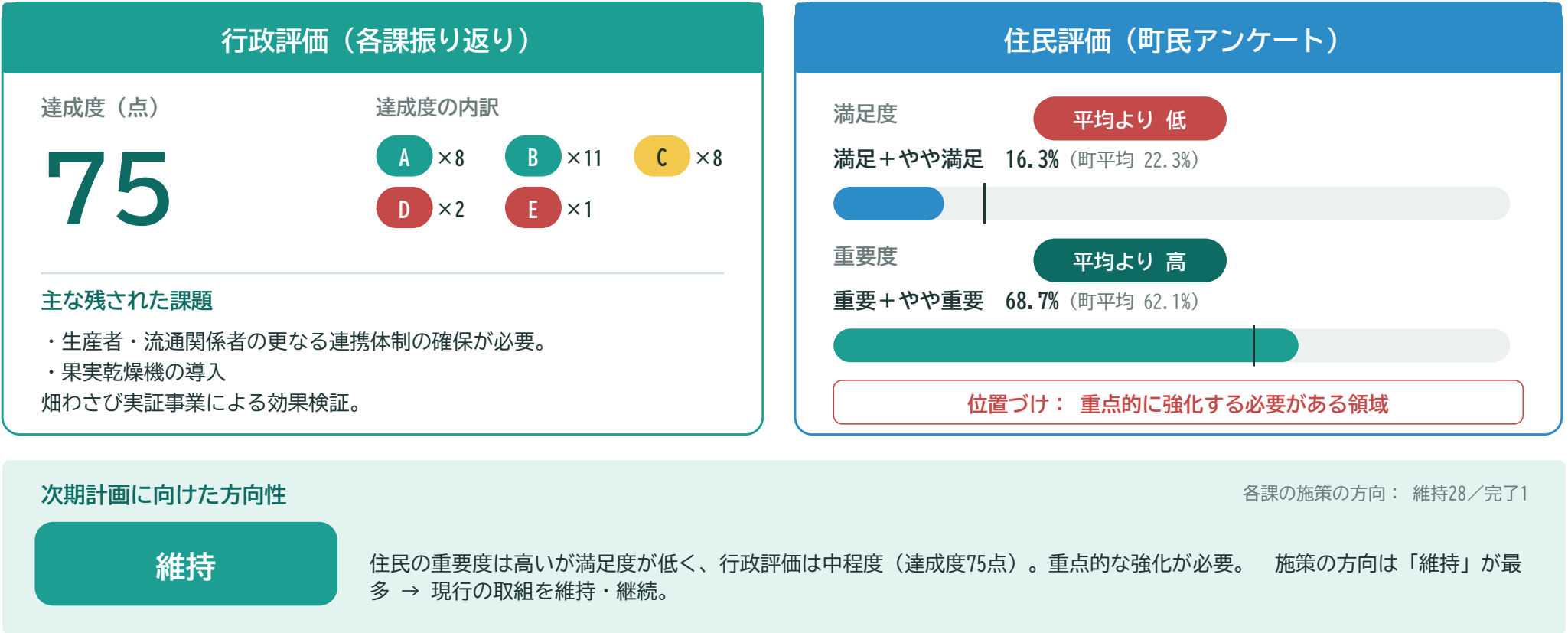
産業・労働分野

お茶と温泉、活気ある産業に満ちたふるさと（評価点 74.5）

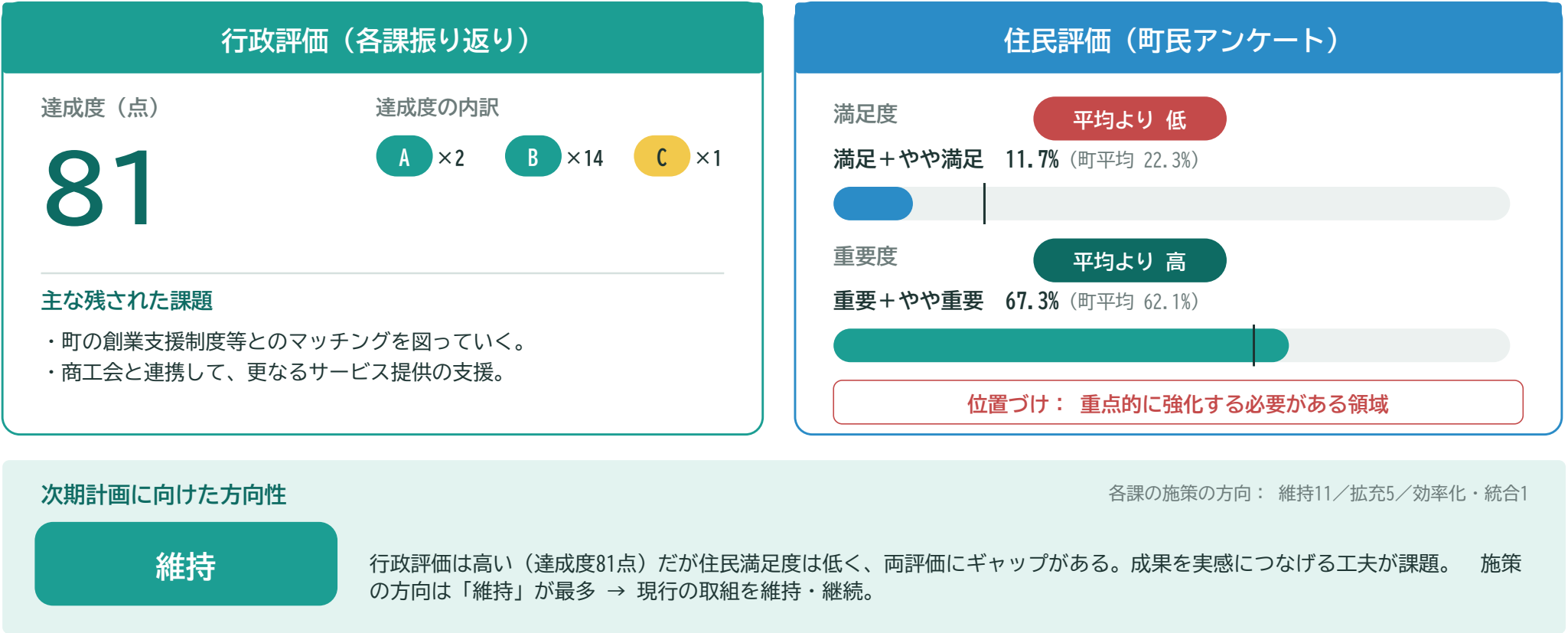
分野評価点

74.5

6-1
 農林業



6-2
 商工業



6-3 観光業

行政評価（各課振り返り）

達成度（点）

74

達成度の内訳

A

×2

B

×10

C

×8

主な残された課題

・観光関係の有資格者や経験のある専門職員がいない。

・コンテンツごとの観光商品はあるが、連携した観光商品は少ない。

住民評価（町民アンケート）

満足度

平均より 低

満足＋やや満足 13.7%（町平均 22.3%）

重要度

平均より 高

重要＋やや重要 63.9%（町平均 62.1%）

位置づけ： 重点的に強化する必要がある領域

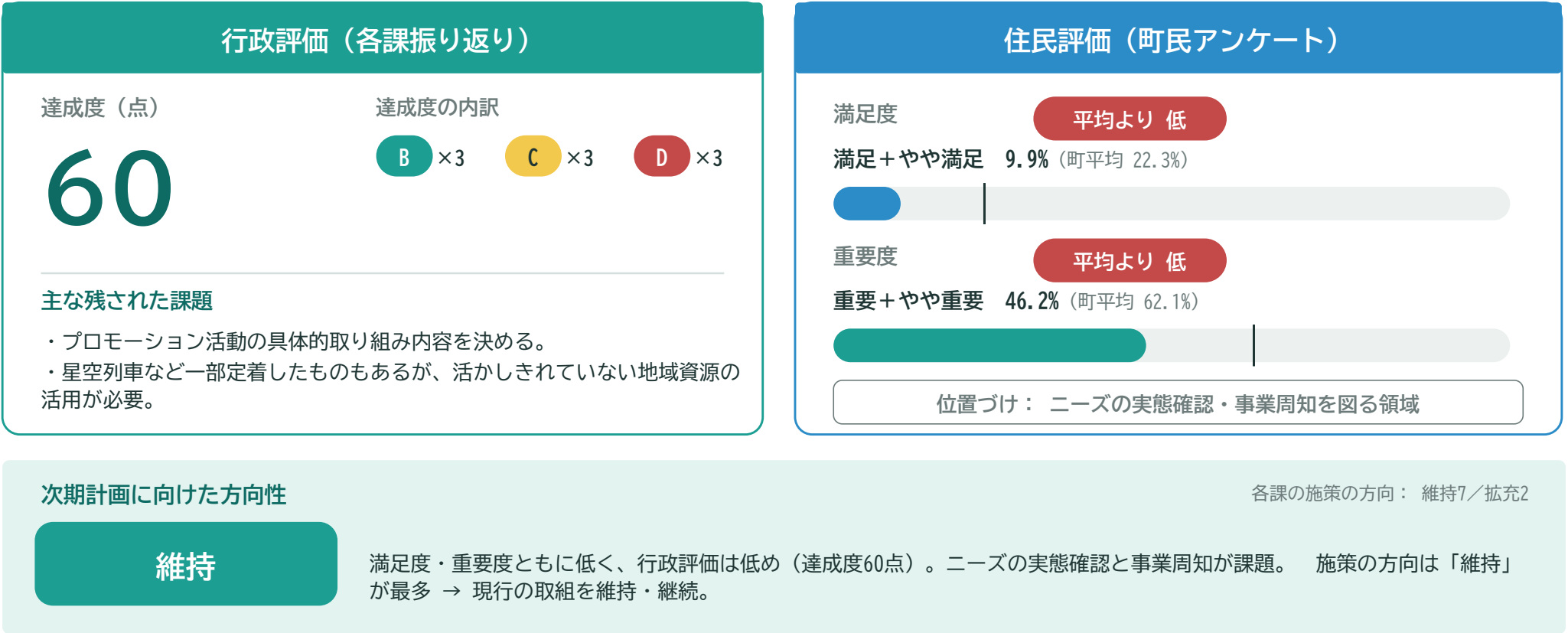
次期計画に向けた方向性

各課の施策の方向： 拡充8／維持12

維持

住民の重要度は高いが満足度が低く、行政評価は中程度（達成度74点）。重点的な強化が必要。 施策の方向は「維持」が最多 → 現行の取組を維持・継続。

6-4 プロモーション



住民評価から見た課題 —— 強化領域と維持領域

重点的に強化する必要がある領域

満足度が低く重要度が高い施策（最優先）

- ・ 1-1-1 幼児教育
- ・ 1-2 産業人材育成
- ・ 2-5 子育て支援
- ・ 3-1-2 道路・公共交通
- ・ 5-2-1 行政運営
- ・ 6-1 農林業
- ・ 6-2 商工業
- ・ 6-3 観光業
- ・ 重点1 川根茶
- ・ 重点2 しごと
- ・ 重点2 ひと

課題：住民ニーズが高いのに満足が伴わない領域。限られた資源を優先的に配分し、成果を実感につなげる取組が必要。

積極的に維持していくべき領域

満足度・重要度がともに高い施策

- ・ 1-1-2 義務教育
- ・ 2-1-1 保健
- ・ 2-1-2 医療
- ・ 2-2 地域福祉
- ・ 2-3 高齢者福祉
- ・ 2-4 障がい者福祉
- ・ 3-2-3 衛生
- ・ 3-2-4 水道
- ・ 3-3-1 防災
- ・ 3-3-2 消防・救急
- ・ 3-3-3 交通安全・防犯
- ・ 4-2 自然環境
- ・ 4-3 景観形成
- ・ 5-2-2 社会保険

課題：評価の高い施策。水準を落とさず効率的に継続し、他分野の底上げに資源を振り向ける。

※ ほかに「ニーズ確認・事業周知を図る領域」（満足度・重要度とも低い）、「満足度を保ちつつ対応する領域」（満足度高・重要度低）がある（P8参照）。

07 総括②

行政評価と住民評価のギャップから見える課題

行政評価は高いが住民評価は低い施策

達成度75点以上 × 満足度は町平均より低い（ギャップ大）

- ・ 重点2 しごと（達成度95／満足14.1%）
- ・ 1-4 生涯スポーツ（達成度94／満足16.3%）
- ・ 1-3-3 青少年活動（達成度88／満足13.1%）
- ・ 1-1-1 幼児教育（達成度86／満足19.8%）
- ・ 1-3-2 文化・芸術（達成度85／満足18.8%）
- ・ 5-1-4 人権尊重・男女共同参画（達成度84／満足14.5%）
- ・ 5-2-3 広域行政（達成度83／満足15.9%）
- ・ 3-2-2 移住・定住（達成度82／満足16.3%）
- ・ 6-2 商工業（達成度81／満足11.7%）
- ・ 1-1-4 学習環境（達成度80／満足19.4%）
- ・ 1-2 産業人材育成（達成度80／満足10.5%）
- ・ 3-1-1 土地利用（達成度80／満足8.3%）
- ・ 3-1-3 I C T（達成度80／満足15.1%）
- ・ 重点1 川根茶（達成度80／満足17.5%）
- ・ 1-3-1 生涯学習（達成度78／満足19.4%）
- ・ 2-5 子育て支援（達成度76／満足22.2%）
- ・ 重点2 ひと（達成度76／満足14.9%）
- ・ 6-1 農林業（達成度75／満足16.3%）

課題：行政の取組成果が住民の実感につながっていない。周知・広報の強化とサービスの質・利便性の向上が必要。

住民評価は高いが行政評価は低い施策

満足度は町平均より高い × 達成度65点未満

- ・ 3-2-4 水道（達成度50／満足56.3%）
- ・ 2-2 地域福祉（達成度60／満足26.0%）
- ・ 3-3-1 防災（達成度61／満足28.0%）

課題：住民の評価は得ているが行政評価が低い領域。取組水準の底上げと達成度の向上を図る。

→ 両評価のギャップが大きい施策は、次期計画で「なぜ評価が分かれるのか」を掘り下げ、対応策を検討する。

課題抽出と次期計画に向けた方向性

拡充

力を入れて拡充・強化する施策

- 道路・公共交通、医療、産業人材育成（重点強化領域）
- 義務教育の構造転換、移住・定住、商工業

維持

現行の取組を維持・継続する施策

- 保健・高齢者福祉など満足度・重要度が高い領域
- 生涯スポーツ・歴史文化など達成度が高い施策

効率化・統合／休・廃止

見直しを検討する施策

- 幼児教育（休園を踏まえた今後のあり方の再整理）
- 水道・環境保全など達成度が低く手法の見直しが必要な領域

次期計画（第3次総合計画）への示唆 行政評価と住民評価のギャップが大きい「重点強化領域」を優先配分し、達成度が高く満足度も高い施策は効率的に維持。限られた資源の選択と集中を図る。